



こさいの豚肉

第 10 回 こさいご当地グルメプロジェクト実行委員会

日 時 令和 6 年 2 月 27 日 (火) 15 時～

会 場 湖西市役所 市長公室

次 第

1. 開 会

2. 実行委員長あいさつ

来年度観光庁 500 億を超える予算

新規にガストロノミー、宿泊効果が高い、飲食店にも対象になる

市や観光協会が支援することになるのか、県は研究会がある、

地域として何を押し出すべきなのか、食に特化したブランディング、今後どう回していくか

どのように進めていくのか

3. 報告事項

(1) P-1 フェア事業報告について

4. 議題

(1) 今後の目標と進め方について

(2) 実行委員会の解散について

5. その他

6. 閉 会

こさいご当地グルメプロジェクト実行委員名簿

(敬称略、順不同)

役 職	委員氏名	所 属	備考
委員長	前田 忍	サンクスループ(株)	
副委員長	清水 政士	はづき	
監事	二橋 和久	湖西市商工会	
監事	飯田 真樹	新居町商工会	
	森谷 義之	浜名湖屋	
	磯貝 翔 ※新任	浜名湖青年会議所	株式会社 いっしょう
	河村 沙耶	海の湖 HAMANA ジェンヌ	
	安田 拓真	Kosai Saiko Labo	静岡銀行 湖西支店

実行委員会事務局

湖西市 企画政策課 課長	馬淵 豪	
湖西市 企画政策課 課長代理	杉本 周平	
湖西市 企画政策課	楠野 泰弘	
湖西市 産業振興課 課長代理	吉田 善行	
湖西市 産業振興課 係長	小笠原 大悟	
湖西市 文化観光課 係長	稲垣 慎介	

3. 報告事項

(1) P-1フェア事業報告について

①開催期間

令和5年10月28日(土)～12月3日(日)

※参加店舗によっては、提供日等を限定(例、ランチのみで提供など)

②実施内容

イベント期間中に市内飲食店が自慢の豚肉料理を提供。

(1)参加事業者 18店舗(うち7店舗が湖西市産豚肉を使用)

(2)メニュー数 38品

(3)情報発信 WEBサイト、Instagram、LINE、X、
静岡ブルーレヴズによる広報など

※WEBサイトのアクセス数は3,193回

(4)参加特典 参加店舗で使える2,000円分の食事券を15名にプレゼント

(5)主催 こさいご当地グルメプロジェクト実行委員会

(今年度開催回数：4回)

③参加事業者へのヒアリング・感想（抜粋）

- ・提供メニューに縛りがなく、実施時期や期間的にも参加しやすかった。
- ・湖西市産豚肉の知名度が低いので、知名度をあげるためにイベントを続けることが重要。
- ・今回のフェア用に用意したメニューをイベント終了後に定番メニューにしたい。
- ・普段から提供しているメニューでもフェア期間中に注文が増えた。

④参加者の感想（抜粋）

- ・いつも利用しているお店以外にも色々なお店を知ることができて良いフェアでした。

（市外 30 代男性）

- ・今まで行ったことないお店にも足を運ぶ機会になったし、魅力的なフェアでした。

（市内 40 代男性）

- ・浜松市民ですが、私の家族も豚肉が湖西市の特産品であることを知らなかったようで、今後このようなイベントを通じて情報発信していければますますブランド力が高まっていくと思いますので、何かあればまた参加したい。（市外 50 代女性）

4. 議題

(1) 今後の目標と進め方について

①経緯

【当初の設立目的（抜粋）】

市民のアイデンティティとなるような「料理」により湖西市の食の魅力を磨き上げ、
賑わい創出と経済活性化及び知名度向上を図る

【変更後の設立目的（抜粋）】 ※第3回の実行委員会で変更

市民のアイデンティティとなるような「食資源」により…



P-1フェアを実施

②今後の目標（実施したことを踏まえ）

- ・市内の飲食店活性化と湖西市産の豚肉も含めた豚肉の消費量増加。
- ・湖西市産の豚肉知名度向上（現状：湖西市産の豚肉の知名度が低い）。
- ・ご当地食材「豚肉」を通して湖西市の認知度も向上。

③今後の進め方

(ア)市が中心となり、飲食店、観光協会などと連携しながらイベントを継続する。

⇒ イベントの定着化

※来年度事業の広報部分の協力を他団体をお願いするなど、事業連携を試みることで令和7年度以降の実施主体となっていただけるかどうかを探っていく。

(イ)定期的な情報発信や飲食店を訪問する。 ※別紙①②参照

⇒ イベントへの参加店舗の増加

(2) 実行委員会の解散について

実行委員会は本日をもって解散。

○ 解消の理由 ○

1. 今回のイベント実施を通して実行委員会で決定したイベントの方向性が参加者や参加店舗のヒアリングで違ってないことが確認できた。
2. 今後の目標に対して、実行委員会として議論するべき方向性が整った。

○ 委員の皆様の今後の関わり方について ○

これからも委員の皆様には、困った時に相談等についでいただきたい。